

自由民主党県議会議員

笹川博義

まちもひと元気ハツラツ!!

まちづくり行動派宣言

笹川ひろよし後援会

〒373-0818 群馬県太田市小舞木町270-1

TEL.0276-46-7424 FAX.0276-49-2367

ホームページアドレス <http://www.sasagawa-hirayoshi.com/>

## 自民党第三選挙区支部長に就任 国政から東毛、群馬のために 笹川博義の新たな決意

謹啓 陽春の候 皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より後



会派を代表して賛成討論

遅れる復興  
責任ある国政を

「リーマンショックで受けた

また、昨年の群馬県議会議員選挙では、19,073票という皆様の大きな力で二期連続トップ当選をさせていただきましたこと重ねて感謝申し上げます。さて、2011年は、東日本大震災、そして、福島第一原発事故が発生し、決して忘れてはならない出来事として記憶される年となりました。

援会ならびに笹川博義に対しご厚誼を賜り心よりお礼申し上げます。

## 災害後の混迷に対し 責任政党として日本再生 政治は国民のためにあると信念

群馬県においては、昨年北関東自動車道開通、ハツ場ダム建

経済的打撃からの回復を目指し「との強い思いで始まった年でありましたが、震災、原発事故による電力供給能力の不安定化、更には、記録的円高、進む産業の空洞化など国内経済を揺るがす出来事が重なりました。また、遅れる復興、先の見通しが立たない電力政策、近付く増税の足音、不安感を助長する社会保障政策など、我が国は、政治経済ともに袋小路に入り右往左往、更に、その混乱に拍車を掛けているのが、TTPと消費税増税であります。何の用意も無く、ただ結論ありきの政府の対応は無責任の一語に尽きます。本年は、責任あるしっかりとした国政へと変えなければなりません。

設継続、前橋赤十字病院移転先決定などは、明るい話題でありましたが、反面、地元企業の三洋電機がパナソニックの完全子会社化、進む中心市街地の空洞化や高齢化する農業の担い手など、県内経済に暗い影を落とす話題もありました。県内産業も国政同様に決して楽観視出来ないものと私は考えております。大坂市の橋下市長を中心とする維新の会への高い支持率は如何なのか、真摯に受け止めるべきであり、私自身の政治行動の糧としてゆく所存であります。笹川博義は本年2月に、次期衆議院選挙において自民党の公認候補となる自由民主党群馬県第三選挙区支部長に就任いたしました。

暮らしの  
育てる  
学ば  
安心

自民党の議席を奪還し国政においても県政同様、「暮らしの安心、育てる安心、学ば安心」を目指して諸課題に全力で取り組んで参ります。厳しい道になりますが、皆様におかれましては、何卒一層の力強いご支援、厳しいご指導の程宜しくお願い致します。(笹川博義)



2011年4月の群馬県議会選挙において19,073票を獲得し、2期連続トップ当選。皆様の大きなご支援に心から感謝申し上げます。

## 安心・安全の社会づくり



# 放射能汚染の風評被害に 不安感を取り除くために

**速応  
迅対**

**県民の不安を軽減するために  
原発飛散放射性物質の  
安全性について**

(厚生文化常任委員会)

群馬県においても原発飛散放射性物質の対応に苦慮しており、一月に開催された厚生文化常任委員会において、原発飛散物質について「県民の健康はほぼ安全」と結論付けた県主催の有識

者会議に対して、県執行部から説明を求めることを副委員長である笹川博義と大林委員長との協議にて決定させていただき、この有識者会議で出された「ほぼ安全」との検討結果では、「会議が非公開」、「安全の根拠が曖昧」など十分なものとは言えない為、委員会において笹川博義が自民党会派を代表して①非公開の理由②会議の公開③会議の定期的な開催について質しました。同会議の事務

局を務める県保険予防課は、指摘を認め「専門家の意見を広く伝えるのは重要だと思った」との答弁に転じました。現在小学校のPTA会長を務める笹川博義は児童のお母さん方と接する機会が多くありますが、やはり放射能についての関心は高く、心配の種は尽きずの感があります。多くの人の不安感を取り除くには情報は公開することが先決であり、政府や自治体は国民や県民が疑心暗鬼に陥るような事を避けなければならないと考えております。

他にも原発関連では事故対策会議などの議事録未作成、放射能瓦礫の搬出、定まらない暫定基準値など民主党政権の手際の悪さは際立っており、各地方自治体も困惑の度を深めているのが実情です。

写真上は3・11東日本大震災後の福島第一原発による放射能汚染問題で群馬県・敷塚のホウレン草農家で風評被害が懸念された。地元農家の要請を受け、いち早く山本一太参議院議員と駆けつける、笹川博義。

# 笹川博義の足跡



若者の就職相談窓口  
ジョブカフェぐんま(高崎)を視察

**雇用対策に  
ついでと考え**

(雇用対策特別委員会)

笹川博義は、県議会の特別委員会では雇用対策特別委員会に所属しており、雇用対策全般について議論を交わしております。

**平成24年度**

**主な予算**

これらの地方議会での議論は、対処療法の域を超えることは難

## 人々の生活と安全 医療を支えた予算 産業振興にも力入れる

しく、国がデフレ脱却、内需拡大に向けて尚一層の努力を傾注することが何よりも肝要であり、次世代を担う世代に負担をかけないよう根本的な解決を目指す。なければならぬと考えております。

を行い病院への搬送時間の短縮を実現します。医師確保と定着のための支援を行うとともに看護師等就労資金貸与としての予算化もされました。

働く人たちのために、若者就職支援センター活動の充実と緊急雇用創出基金の拡充を図り、新たに2800人分の雇用を創出します。

地域の安全のために信号機の増設と群馬県地震防災戦略を策定します。

農林水産関係では野菜価格安定事業に取り組みます。また、農畜産物等放射性物質検査を充実し安心安全の物産の環境をつくります。県産産物ブランド力強化のための予算も計上されました。ぐんまの木で家づくり支援も行います。

産業振興を図るための企業誘致の支援と首都直下型地震に備えたバックアップ機能誘致を図ります。

国際戦略推進を図り海外向けの観光情報を発信したり、国内や海外への販路開拓に力を入れます。

太陽光発電の推進と新エネルギーの促進を図ります。



支援者の皆様とグラウンドゴルフ

# 公務員改革を速やかに

## 信念で政治決断と実行力を

### より開かれた 議会改革論議へ

#### (議会改革検討委員会)

県議会では5月定例会にて議会人事を行います。笹川博義は引き続き議会改革検討委員会に所属いたします。新しく就任した南波県議会議長より議会基本条例制定の必要性が示され、議会改革検討委員会にて議論を重ねて参りました。この中

で私は、現在、議会改革検討委員会では議会運営委員会から諮問された事のみ議論となつていので今後は議会改革全般について議論出来るよう改革をすべきではと提案させて頂きました。自民党公派は勿論、他会派の賛同も得られ、この事が盛り込まれる事となり、尚一層の議会改革の推進につながるものと考えております。尚、この条例制度は議員の決断と主導、議会事務局の協力、いわゆる政官一

致した努力の賜物であり、パフォーマンス的な脱官僚の主張は混乱を招くだけであること、は民主党の政権が証明いたしました。しかし、日本の現状を考えると、公務員制度を速やかに進めなければならないのも事実である。

### 県都市計画審議会が 初めて案件を否定

#### (県都市計画審議会)

ります。公務員制度の改革、そして活用、この事こそが国政に求められているものではないでしょうか。尚、議会基本条例は2月定例会において可決され、この条例案の中には改革を推進する為の議会基本条例推進委員会の設置も含まれています。

5月定例会より県都市計画審議会委員に選任をされました。この審議会に提出されてくる都市案件について懸念事項は減少したものであるという点と、選任早々前橋市における廃棄物処理事業についての問題が噴出した。笹川博義は資料に目を通し状況を確認した上で、地元住民の意見や同僚議員の意見を数度にわたり聴取の結果、「これは認めてはならない、住民の意向を最大限尊重すべき事案である」と確信し、審議会において積極的に発言をし、初め地元住民による意見陳述を実現し、そして「支障あり」との県都市計画審議会としては異例の決断となりました。笹川博義の前例に拘らない、現実に基づいた行動が大切との考え、そして政治は決断と実行力が大事であるとの信念が表れた事案でありました。

### 県議会を傍聴した皆様と一緒に



県議会を傍聴した皆様と一緒に

## 一期目 笹川ひろよしの県政での取り組み

皆様との「約束」を「実現」するため、  
一步一步「誠実」に取り組みました。

### 救急医療と小児医療

- 救急医療センター設置と現在ある施設の充実を要望  
→太田市高度救急医療施設の整備に財政支援(30億円)が決定
- 前橋日赤病院の役割について質問  
→移転新築が決定。ドクターヘリ24時間化へ大きく前進
- 子供医療費無料拡大について質問  
→大沢知事の英断!平成20年・13才までの医療費無料化へ
- NICU(新生児集中治療管理室)の増床要望  
→県立小児医療センターのNICU増床費用として約5億円の予算が計上

### 耐震化

- 私立幼稚園の耐震強化について質問  
→私立幼稚園施設耐震診断促進費補助制度の新設

### ハット場ダム

- 前原前国土交通相が表明した「ハット場ダム建設中止」に対する県の見解について質問  
→国土交通省の担当者の参考人招致が実現(省担当者の招致は40年ぶり)

### まちの安心

- 雨排水処理能力向上について質問  
→国土交通省の耐渇基準改定。尚一層の合併浄化槽推進を要望

### ググッとくんま

- 県内の産業力をアップするために、優良企業の誘致を要望。また、知事に対し群馬の良さをPRするなどトップセールスマンとしての意識をもってもらうよう要望

### 教育の安心

- 教員処分の基準策定について要望  
(従来の懲戒処分基準は飲酒運転などの交通違反に限られていた)  
→県教育長は、部活動等で体罰があった場合の教員処分について、本県独自の基準を策定する考えを表明。教員処分の基準策定へ

### 県政の経費削減

- (知事、特別職、管理職等の減額化は明確化されている)
- 行政委員会委員報酬について質問  
→知事、見直しを表明

### 交通安全について

- 警視庁の発表した「一般道路区間の速度、駐車区間、信号機等の規制の見直し」について、県警本部長に質問  
→「市街地における通行規制や駐車規制等については、まちづくりの視点から自治体や地域住民、商店街の意見を伺いながら見直しを進めていく」との答弁
- 運転免許証即日交付窓口拡大について質問  
→即日交付窓口拡大へ。平成20年太田市開設

### その他

- インターネットなどによるイジメ問題について
- 給食費未納について
- LED式信号機設置について
- 米対策について
- 県農漁業災害対策特別措置条例改正について
- 就農支援について
- スポーツ産業振興(公立サッカー場建設提案)
- 環境測定地点について
- 廃タイヤ不当投棄事件について
- 太田国際貨物ターミナル事業支援について
- Gブランド制度の見直しについて
- 鳥獣(イノシシ)害対策について

### 決算特別委員会

(自民党を代表して総括質問を行う)

- 水質保全対策事業、外部監査報告、制度融資、年末金融相談窓口設置、県立病院未収金、国庫補助事業不適切流用などについて

### 議会改革検討委員会

- 県議会機能強化のため、開会中の常任委員会の常任委員会開催(いわゆる月一委員会)を提案  
→5月定例会で月一委員会の開催を可決
- 本会議をクールビズ化を提案  
→本会議のクールビズ化が決定

## 所属委員会

### 平成19年

- 文教警察常任委員会 委員
- 子育て支援対策特別委員会 委員
- 図書広報委員会 委員

### 平成20年

- 産業経済常任委員会 副委員長
- 決算特別委員会 委員
- 予算特別委員会 委員
- 議会改革検討委員会 委員

### 平成21年

- 地域活性化対策特別委員会 副委員長
- 産経土木常任委員会 委員
- 自由民主党群馬県 総支部連合会 副幹事長

### 平成22年

- ググッとくんま 観光推進特別委員会 副委員長
- 環境農林常任委員会 委員
- 議会改革検討委員会 委員

### 平成23年(現在)

- 厚生文化常任委員会 副委員長
- 雇用対策特別委員会 委員
- 議会運営委員会 委員

自由民主党群馬県第三選挙区支部長公募時 論文

## 「国政をみつめて」 笹川ひろよし

### 地方議会の経験を糧として

平成二十一年八月三十日我が国で初めての本格的な政権交代が行われた。多くの国民が危うさを感じながらも新しい政治に期待した結果、民主党は圧勝した。そして今、大震災復興、原発問題、欧州債務問題、深刻なデフレ経済など、国家の危機的状況にも関わらず、民主党政権は迷走し、**国政は混乱**している。この事は、国民にとって大きな

戦後六十年の間に、日本の内的環境、外的環境は大きく様変わりした。その速さは年々加速をしており諸課題は、先送りが許されない待ったなしの状況にある。多くの地方自治体は事業の見直し、職員の削減など身を削る決断と行動を率先しているが、国については十分ではないの思いが強い。**政治は国民の為にあり、国民の声が届かない**のであればもはや政治とは言えない。「国民との対話が足りないこと」、自民党を含め既成政党の支持率が低迷している要因はここにあると私は考える。私は中小企業の経営者として決断の日々を過ごす中、会社の代表としての役割は目的達成への道筋を示し、決断し、責任を負うことと考えている。政治の要諦もここにあると思う。私はこれらの思いから、地方議会での貴重な経験を糧とし、国政の場で自民党の信頼回復、国政の立直しの一翼を担いたい、そして子供達の未来の為に**日本の再生に半生をかけ全力で取り組んでいきたい**。

是非、私の心中をお察し頂きますよう宜しくお願い申し上げます。以上私の昨今の「国政をみつめて」の思いの一端とさせていただきます。



質問は議員の最大の武器

### 自民党議席 奪還を目指して

今年1月に公募された自由民

主党群馬県第三選挙区支部長に

谷垣総裁と力強く握手



応募。2月2日の一次書類選考、2月19日の二次面接、2月28日の自民党本部での大島副総裁、河村選対局長の面接を経て、2月29日付で自由民主党群馬県第三選挙区支部長に就任いたしました。次期衆議院選での自民党議席奪還を目指し、全力で頑張ります。一層のご支援ご協力宜しくお願いいたします。

■「暮らし」を支えているのは、働く場があり、経済の営みがスムーズに展開し、命が保障される環境が整っていることである。救急医療もそのひとつである。食の安全、災害に対応できる都市形態も「暮らし」にかかわってくる。「育てる安心」は高齢者対策でもある。福祉を支える子どもが安心して育つことができる社会環境の整備である。「学ぶ安心」は人材育成である。良い人材づくりによって「国は栄える」とも言われる。

■国政においても、社会においても混乱が続いている。今こそ、政治の原点に立ち、政治がリーダーシップをとる、政治が国づくりを期待したい。その一翼を担うのが笹川ひろよしである。

(文責・笹川ひろよし後援会・会報委員会)

### 笹川博義 <さがわひろよし> プロフィール

生年月日/昭和41年8月29日生まれ

■趣味 映画観賞、ガーデニング、読書

■好きな言葉 兼愛非攻

■家族 妻・子供3人 5人家族 (太田市小舞木町在住)

<経歴>

群馬県空手道連盟 顧問

太田市吟詩舞道連合会 顧問

太田市少林寺拳法協会 会長

太田ボーイズ(少年硬式野球)顧問

上州ねぶた会 名誉会長

九合小 PTA 会長

社会福祉法人 三晃福祉会 理事

社会福祉法人 親孝行の里 評議員

社会福祉法人 東毛会 理事

太田商工会議所青年部 会員

太田機械金属工業協同組合青年部 会員

太田ロータリークラブ 会員

(社)太田青年会議所OB

ひかり幼稚園 保護者会 副会長

太田市私立幼稚園PTA連合会 元会長

### 編集後記

■笹川ひろよしは、「貫して「暮らしの安心、育てる安心、学ぶ安心」を政治基調にしてきた。県政も国政に対しての思いである。常に根底に「政治は誰のためにあるのか」を考えて行動してきた。そのためには、現状と課題をしっかりと知らなければならぬ。住民の要望や意見に耳を傾け、本音で話し合いを行ってきた。「すべては現場で起きている」という意識が働いたからだ。彼のいう「現場主義」はそこにある。常に目標は「弱い立場のひとたち」に向けている。